

パレットこうつ

海田町役場

配置



施設整備の役割

- ・民間活力を誘発し、周辺のにぎわいを含めた活性化を図る
- ・子どもから高齢者まで住民同士が語らい、情報交換し、様々な活動を行う「場」



新庁舎周辺の役割

- ・子育て世代や若者、高齢者等の多様な世帯の多様なニーズに対応した良質な都市型住宅の立地誘導を促進し、利便性の高い住環境の提供を担う
- ・新庁舎は、多く人が訪れそこに滞留できる賑わい空間づくりを目指す

大田市新庁舎との共通点

- ・駅前の立地
- ・JR 利用者や学生など自由な利用が可能
- ・屋外や屋内のフリースペースを設けている

- ・1F に市民交流スペースや多目的ホールを配置
- ・窓口機能をはじめとした市役所機能は 2F 以上
- ・規模（延べ面積：約 6,700 m²）

ポイント

利用状況（フリースペース）について

- ・1 日利用者数：平均 54.8 人
- ・利用用途は、休憩、勉強、ちょっとした打ち合わせなどのフリー利用やイベントの出店ブースも
- ・平日…日中は高齢者、親子連れ、夕方は学生多め（JR 待ち、勉強など）
- ・休日…年齢問わず様々な利用者層。学生も多い

- ・仕上げ材などにおいて比較的質素なつくりを心掛けている
↑空調の方式や照明器具の配置などを工夫することで、天井材を張らないなど（デザイン上の配慮をしつつ、コンクリート躯体や鉄骨がむき出し）
- ・1F から 2F へ来庁者を案内するため 1F エントランスに総合案内（コンシェルジュ）を設けている
- ・エントランスホールは、地域の魅力を発信する空間づくりとなっている
- ・窓口のみやすさについて案内サインや仕上げの色調などで工夫されている